

(2015年度)

5 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は23ページ、4問である。)

受験についての注意

1. 監督の指示があるまで、問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に、監督から指示があったら、解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し、所定の欄に氏名を記入すること。次に、解答用紙の右側のミシン目にそって、きれいに折り曲げてから、受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し、机上に置くこと。
3. 監督から試験開始の指示があったら、この問題冊子が、上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は、HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能、計算機能、辞書機能などを使用してはならない。
5. 解答は、解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで、そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. マークをするとき、マーク欄からはみ出したり、白い部分を残したり、文字や番号、○や×をつけてはならない。
7. 訂正する場合は、消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり、破ったりしてはならない。
9. 試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1

以下の文章を読んで、問(1～3)に答えなさい。

肖像とは彫刻、絵画、写真などによって人物の外観を再現したものである。しかし多くの場合、完全に忠実な再現というよりは、再現にみせかけた意図的な産物といえる。

古代ギリシアでは、理想化された普遍的な美が芸術の規範であり、肖像彫刻も例外ではなかった。デロス同盟の中心人物であったペリクレスの肖像や、中部ギリシアの神託地(1)^(A)に伝わるブロンズの御者像はその典型といえる。後者は二輪戦車競走の優勝者であった。

これに対し古代ローマ世界では、性格まで読み取れるような写実性が重要視された。カエサル像やオクタウィアヌス像など皇帝の肖像彫刻においては、写実的でありながらも、より良く、威厳をそなえて見える技が彫刻家には要求されていた。

中世後期に本格的な肖像芸術を復活させたのはジョットである。パドヴァの高利貸スクロヴェーニの注文で描いた礼拝堂壁画に、スクロヴェーニの堂々たる肖像を描きこんでいる。この絵からは、中世では従来、罪深い職業とされてきた高利貸に対する意識の変化を読み取ることも可能である。実際、13世紀のフランチェスコ修道会の神学者ペトルス＝ヨハニス＝オリヴィは、貸与者が利子を得ることに正当な理由を付与しようとした。なお、パドヴァ大学は最古の(2)大学とならんで最も古い大学の一つとされる。パドヴァ大学はまた、(3)大学と同様に医学が有名で、ガリレオ＝ガリレイも教鞭をとっていた。

ルネサンス期には多くの巨匠が優れた肖像画を描いている。「アテネの学堂」で有名な(4)が描いた(5)家出身の教皇レオ10世の肖像からは、聖職者というよりは学芸を愛した人文主義者で、穏和とされた彼の性格さえもうかがうことができる。彼は根本的な教会改革には手を付けず、(6)聖堂の造営を推進するために贖宥状を発行した。

同じくルネサンス期のヴェネツィアの画家ティツィアーノは、君主や高位聖職者たちに最も好まれた画家といえる。特に神聖ローマ皇帝カール5世兼スペイン王カルロス(7)の寵愛を受け、彼の肖像画を幾つも描いている。(8)家

に特徴的な顎の形がカール5世には極端に出ていたが、ティツィアーノはそれをうまく威厳のある風貌に描出することができた。この(8)家の特徴は代々続き、スペイン・バロックの巨匠(9)が繰り返し描いたスペイン王女マルガリータの肖像にもかろうじて認めることができる。

問1 空欄(1~9)にもっとも適切な語を選択肢(a~e)から1つ選びなさい。

- (1) a スパルタ b トロイア c オリンピア d テイリンス
e デルフォイ
- (2) a ボローニャ b パリ c ケンブリッジ
d オクスフォード e サレルノ
- (3) a ボローニャ b パリ c ケンブリッジ
d オクスフォード e サレルノ
- (4) a ミケランジェロ b ラファエロ c ボッティチェリ
d ブラマンテ e レオナルド=ダ=ヴィンチ
- (5) a スフォルツァ b メディチ c フッガー
d サヴォイア e アンジュー
- (6) a セント=ポール b ハギア=ソフィア c ノートルダム
d サンタ=マリア e サン=ピエトロ
- (7) a 1世 b 2世 c 3世 d 4世 e 5世
- (8) a ズップリンブルク b ハプスブルク c シュタウフェン
d ヴィッテルスバッハ e ホーエンツォレルン
- (9) a ムリリョ b エル=グレコ c ルーベンス
d ベラスケス e ファン=ダイク

問2 下線部(A～E)に関する問(1～5)に答えなさい。

(1) 下線部(A)に関する文(a～e)のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- a 当初、アテネを本部として結成された。
- b 最盛期の加盟ポリスは200ほどであった。
- c ペルシアの再侵攻に備えて結成された。
- d 加盟したポリスは艦隊・兵士もしくは資金を提供した。
- e エーゲ海周辺のポリスが加盟した。

(2) 下線部(B)と同時代ではない人物を、選択肢(a～e)から1人選びなさい。

- a ボッカチオ b チョーサー c ペトラルカ d ダンテ
- e ホップズ

(3) 下線部(C)に関する文(a～e)のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- a 従来の修道院の富裕化を批判して生まれた。
- b 同時期にドミニコ修道会も創立された。
- c 教皇インノケンティウス3世によって承認された。
- d アッシジに修道院がある。
- e 農村での開墾を活動の中心とした。

(4) 下線部(D)に関する文(a～e)のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- a 遊星(惑星)運行の法則を発見した。
- b 天体観測によって地動説が正しいことを確信した。
- c 振り子の等時性の法則を発見した。
- d 1633年に異端の嫌疑をかけられた。
- e ピサ生まれでフィレンツェでも活躍した。

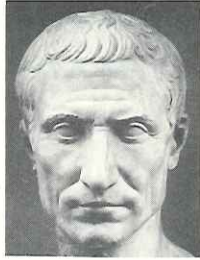
(5) 下線部(E)に関する文(a～e)のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- a 地中海貿易によって強大な国家となった。
- b コンスタンティノーブルに侵攻した。
- c アドリア海沿いの港市である。
- d 第4回十字軍の中核を担った。
- e 君主制の国家であった。

問3 下線部(A～ウ)に相当するものを選択肢(a～e)から選びなさい。



a



b



c



d



e

2 ロシア・ソ連史に関する以下の問(1～19)の選択肢(a～d)のうち、正しいものを、指定された数(1つまたは2つ)だけ選びなさい。

問1 選択肢(a～d)のうち正しいものを1つ選びなさい。

- a ロシアでは7世紀に毛皮交易の中心地にノヴゴロド国がつくられ、さらに南にはキエフ公国が形成された。
- b ノヴゴロド国は、首長ロマノフに率いられたノルマン人の一派のルーシ(ルス)が建国したとされ、このルーシ(ルス)がロシアの語源になったとされている。
- c キエフ公国はビザンツ帝国との交流を重ね、10世紀末には大公ウラディミル1世がビザンツ皇帝の妹と結婚し、ギリシア正教を国教とした。
- d キエフ公国は11世紀にモンゴル人のキプチャク＝ハン国の支配下に入った。

問2 選択肢(a～d)のうち正しいものを2つ選びなさい。

- a モスクワ大公国はヴォルガ川支流に位置し、水陸交通の要衝として発展した。
- b モスクワ大公国は、14世紀前半にイヴァン3世のもとで独立を達成した。
- c イヴァン3世は、最後のビザンツ皇帝の姪と結婚してツァーリ(皇帝)を名のり、ビザンツ皇帝の後継者を自認した。
- d イヴァン3世は厳しい弾圧政策をとったため、「雷帝」と恐れられた。

問3 選択肢(a～d)のうち正しいものを1つ選びなさい。

- a 16世紀にモスクワ大公国のイヴァン4世が、大貴族をおさえて中央集権化をすすめ、農民の移動を禁じて農奴制を強化した。
- b イヴァン4世は、コサックの隊長ベーリングの協力を得てシベリアにも領土を広げた。
- c イヴァン5世は、全ロシアの君主として正式にツァーリの称号を用いた。
- d アレクサンドル＝ロマノフが中小の領主や商人たちの支持を得て即位し、ロマノフ朝を開いた。

問4 選択肢(a～d)のうち正しいものを1つ選びなさい。

- a ピョートル1世は、デンマークとのあいだで北方戦争を戦った。
- b ピョートル1世は、清朝とキャフタ条約を結んで、国境を定め、清との通商を開いた。
- c エカチェリーナ2世は、オーストリア＝ハンガリー帝国とのあいだでポーランドを分割した。
- d エカチェリーナ2世は、オスマン帝国と戦ってクリミア半島やバルカン半島へ進出した。

問5 選択肢(a～d)のうち正しいものを1つ選びなさい。

- a クリミア戦争は、ロシアがギリシア正教徒の保護を理由に、ギリシアを占領してオスマン帝国と開戦したことから始まった。
- b 独仏両国は、オスマン帝国側についてクリミア戦争に参戦し、オーストリアも味方につけて勝利した。
- c クリミア戦争に敗北した結果、ロシアは、サン＝ステファノ条約を締結して、黒海に艦隊を置く権利を失った。
- d クリミア戦争の最大の激戦地の一つはクリミア半島にあるセヴァストーポリ要塞(軍港)の攻防戦であった。

問6 選択肢(a～d)のうち正しいものを1つ選びなさい。

- a クリミア戦争の敗北後、ロシアでは、皇帝アレクサンドル1世のもとで1861年の農奴解放令など一連の改革がおこなわれた。
- b ロシアの農奴解放令は、農業の発展には貢献したが、ロシアの工業化をかえって遅らせる要因となった。
- c 1863年のポーランド独立運動を境に皇帝が専制政治を復活させたため、1870年代には学生や知識人(インテリゲンツィア)によるナロードニキ運動がおこされた。
- d ナロードニキ運動は、哲学者ミハイル・ナロードが指導者であったことから、そのように呼ばれることになった。

問7 選択肢(a～d)のうち正しいものを1つ選びなさい。

- a 1898年、マルクス主義にもとづく社会革命党(エスエル)が結成された。
- b 20世紀初頭に、ナロードニキの系譜を引く立憲民主党が結成された。
- c 1905年1月の血の日曜日事件を契機に、農民蜂起、労働者のストライキ、民族運動がおき、労働者はソヴィエト(評議会)を組織した(第1次ロシア革命)。
- d 皇帝ニコライ2世は、血の日曜日事件がおきると、二月勅令によって国会(ドゥーマ)の開設を約束し、事態の収拾を図った。

問8 選択肢(a～d)のうち正しいものを2つ選びなさい。

- a ロシアは義和団事件後も中国東北地方(満州)に大軍を残留させていたが、これは、朝鮮半島を勢力圏とし、さらなる拡大をねらっていた日本にとって大きな脅威であり、日露戦争の原因の一つとなった。
- b 日露戦争は、両国の国内事情により戦争継続は困難で、両国は、アメリカ大統領セオドア＝ローズヴェルトの勧告に応じ、1905年にポーツマス条約を結んで講和した。
- c 日本は、ポーツマス条約によって、ロシアから樺太全島を割譲させたほか、南満州鉄道とその沿線の利権を獲得し、遼東半島南部など中国におけるロシア権益の一部を譲渡させた。
- d 日露戦争後、日本とロシアは3次にわたる日露協約を結び、中国における利権を調整した。

問9 選択肢(a～d)のうち正しいものを1つ選びなさい。

- a 1917年3月、首都モスクワで、労働者がパンと平和を求めてゼネストをおこすと、兵士もこれに合流し、各地で労働者や兵士のソヴィエトが結成された。
- b 1917年3月、国会では立憲民主党を中心に臨時政府が樹立され、皇帝ニコライ2世は家族とともに処刑された(ロシア暦二月革命)。
- c 1917年4月、ボリシェヴィキの指導者レーニンは、亡命先のスイスから帰国し、臨時政府との協力を主張した。
- d 1917年11月7日、ボリシェヴィキは武装蜂起し、社会革命党左派の協力を得て、ソヴィエト政権を樹立した(ロシア暦十月革命)。

問10 選択肢(a～d)のうち正しいものを1つ選びなさい。

- a ソヴィエト政権は、成立後ただちに「平和に関する布告」を出して、全交戦国に即時停戦と、無併合・無賠償(無償金)・民族自決の原則による和平を呼びかけた。
- b ソヴィエト政権は、成立後ただちに「土地に関する布告」を出して、土地の私有化を実現した。
- c ソヴィエト政権成立直前におこなわれた憲法制定議会選挙では社会革命党が第一党になったため、レーニンは議会を解散し、ボリシェヴィキの独裁体制を確立した。
- d ソヴィエト政権は、ドイツとの単独講和にふみきり、ベルリン条約を結んだ。

問11 選択肢(a～d)のうち正しいものを1つ選びなさい。

- a 1918年以降、内戦や対ソ干渉戦争により危機に直面したソヴィエト政権は、チェカ(非常委員会)によって反革命運動を取り締まるとともに、スターリンの指導のもとで赤軍を組織して対抗した。
- b 1921年には、ロシア共産党の指導のもとに共産主義インターナショナル(コミンテルン、第3インターナショナル)が結成され、世界革命の推進とソヴィエト・ロシアの防衛をめざした。
- c ソヴィエト政権は、内戦期、全工業を国有化し、農民からの食糧徴発、労働義務制などのきびしい戦時共産主義を導入して、政治・経済の統制を強化した。
- d きびしい戦時共産主義への不満が高まると、ソヴィエト政権は、1924年から、資本主義の要素をある程度復活させる新経済政策(ネップ)を採用した。

問12 選択肢(a～d)のうち正しいものを1つ選びなさい。

- a 1922年、ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、カザフの四つのソヴィエト共和国からなるソヴィエト社会主義共和国連邦(ソ連)が結成された。
- b レーニンの死後、指導者間の争いが表面化し、スターリンは、一国社会主義を主張して勢力をのぼし、世界革命の必要性を説くトロツキーを追放して、支配権を固めた。
- c スターリンは、1928年にネップにかわって社会主義経済の建設をめざす第1次5か年計画を開始し、重工業の建設と、国営農場(コルホーズ)や集団農場(ソフホーズ)による強制的な農業集団化をおしすすめた。
- d スターリンは、農業集団化で数百万人の農民を中央アジアに追放・強制移住させ、反対派を大量に粛清して独裁を強化し、官僚主義や個人崇拜の傾向を強めた。

問13 選択肢(a～d)のうち正しいものを2つ選びなさい。

- a 1939年に独ソ不可侵条約を締結したソ連は、その秘密協定にもとづいてドイツとの間でポーランドを分割し、その東半部を占領した。
- b 1939年、ソ連はフィンランドに侵攻し、レニングラード北方の国境地帯を奪った。
- c 1940年、ソ連は、ハンガリーからベッサラビアを割譲させた。
- d 1940年、ソ連は、バルト三国(モルドヴァ、ラトヴィア、リトアニア)を併合した。

問14 選択肢(a～d)のうち正しいものを1つ選びなさい。

- a 1943年、米・英・ソ連の首脳はカイロ会談で、ドイツに対する共同作戦を協議した。
- b 1945年、米・英・ソ連の首脳は、モスクワ郊外のヤルタでヤルタ会談をおこない、ドイツや東欧の戦後処理、ソ連の対日参戦を決定した。
- c ヤルタ協定に付随する秘密協定では、ドイツ降伏後6か月以内の対日参戦と、その条件としての千島列島の引き渡しなどが決められた。
- d 1945年、米・英・ソ連の首脳は、ベルリン郊外のポツダムで会談し、ヨーロッパの戦後処理について協定した。

問15 選択肢(a～d)のうち正しいものを1つ選びなさい。

- a ソ連は、第二次世界大戦後、チェコスロヴァキア、ハンガリー、ブルガリア、ポーランド、ユーゴスラヴィア、ルーマニアなどの東欧諸国の共産党(労働者党)とイタリア、フランスの共産党でコミンフォルムを組織した。
- b ソ連は、第二次世界大戦後、チェコスロヴァキア、ドイツ民主共和国(東ドイツ)、ハンガリー、ブルガリア、ポーランド、ユーゴスラヴィア、ルーマニアなどとコメコン(経済相互援助会議)を組織し、経済的な結びつきを強めた。
- c ソ連は、第二次世界大戦後、チェコスロヴァキア、ドイツ民主共和国(東ドイツ)、ハンガリー、ブルガリア、ポーランド、ユーゴスラヴィア、ルーマニアなどと友好協力相互援助条約(ワルシャワ条約)を結んでワルシャワ条約機構を結成した。
- d コミンフォルム、コメコン、ワルシャワ条約機構は、いずれも冷戦の終結とともに1991年に解散した。

問16 選択肢(a～d)のうち正しいものを2つ選びなさい。

- a 1953年にスターリンが死去すると、ソ連は外交政策を転換し、1955年、米・英・仏とともにジュネーブ4巨頭会談を開催して西側と協調する姿勢を見せた。
- b 1956年のソ連共産党第20回大会でフルシチョフ第一書記らがスターリン批判をおこなうとともに、西側陣営との平和共存路線をうちだした。
- c 1959年、フルシチョフが訪米し、ケネディ大統領とキャンプ＝デーヴィッドで会談がもたれた。
- d 1963年、米・中・ソ3国間で部分的核実験停止条約(PTBT)が結ばれ、緊張緩和が大きくなる。

問17 選択肢(a～d)のうち正しいものを1つ選びなさい。

- a 1964年、フルシチョフが死去し、ブレジネフが第一書記となった。
- b 1968年、チェコスロヴァキアのゴムウカ政権の改革政策(プラハの春)は、ワルシャワ条約機構軍によって抑圧され、ブレジネフはこれを正当化する制限主権論を主張した。
- c 1972年、ソ連は、米国との第1次戦略兵器制限交渉(第1次SALT)に調印して、米ソによる核軍備管理体制の構築をはかった。
- d 1979年、ソ連がアフガニスタンに侵攻すると、米国のカーター政権はそれを強く非難し、第2次SALTは調印されなかった。

問18 選択肢(a～d)のうち正しいものを2つ選びなさい。

- a 1985年に書記長に就任したゴルバチョフは、ペレストロイカ(立て直し)、グラスノスチ(情報公開)の標語をかかげて改革を開始した。
- b ゴルバチョフは、新思考外交をとらえて、1987年にアメリカとの間で中距離核戦力(INF)全廃条約を調印した。
- c ゴルバチョフは、1989年、地中海のマルタ島で米国のレーガン大統領と首脳会談をおこない、冷戦の終結をうたったマルタ宣言に調印した。
- d ゴルバチョフは、1990年にソ連史上第2代の大統領となった。

問19 選択肢(a～d)のうち正しいものを2つ選びなさい。

- a 1991年、ロシアの大統領に選ばれたエリツィンは、公然とゴルバチョフ体制を批判し、ロシアのソ連からの独立を主張した。
- b 1991年、共産党幹部の一部がクーデタをおこしたが、ゴルバチョフ大統領の抵抗の前にクーデタは失敗に終わり、その結果、ソ連は解体した。
- c ソ連解体後、ロシア内部でも少数民族がそれぞれ独立を主張し、なかでもチェチェン独立派が激しい独立闘争を展開した。
- d エリツィン大統領はチェチェン独立派を放置したが、2000年に大統領になったプーチンは、チェチェン独立派を攻撃し、事態を沈静化させることに成功した。

3 次の文章(I～V)を読んで、問(1～23)に答えなさい。解答はもっとも適切なものを選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

(I) アメリカ合衆国は日本と違って州の独立性が高い。これは、国土が大きく多様性に富むという地理的条件の上に、ヨーロッパ人がアメリカ大陸を「発見」してここに植民してきた時から、多様な植民地が併存していたという歴史的経緯も大いに関係している。宗教の自由を求めてやってきた人たちや、王の許可を得て植民地を建設するもの^(ア)や、経済上の新天地をもとめて移住してきた人たち^(イ)など、移住者の動機は多様であり、統治形態も様々であった。

問1 下線部(ア)で有名なピルグリム＝ファーザーズが、北米で上陸した場所はどこか。

- a ボストン b プリマス c フィラデルフィア
- d ワシントン e ヨークタウン

問2 クウェーカー教徒が建設した北米植民地はどこか。

- a マサチューセッツ b コネティカット c デラウェア
d ニュージャージー e ペンシルヴェニア

問3 下線部(イ)に関して、イギリスは16世紀後半、王の寵臣ローリが最初の北米植民地を建設しようとしたが失敗した。この時のイギリス国王は誰か。

- a エドワード6世 b メアリ1世 c エリザベス1世
d ジェームズ1世 e アン

問4 1607年に建設に成功したイギリス初の北米植民地は、何と呼ばれたか。

- a ヴァージニア b ニューヨーク c ルイジアナ
d メリーランド e ジョージア

(II) 北米に植民地を作ったのは、イギリス・フランス・オランダ・スペインなどで、ヨーロッパ諸国は植民地をめぐって争い、最終的にはイギリスの勝利に終わった。^(ウ) 勝利したイギリスは戦費を回収しようと、それまで寛容だった植民地政策を改め、植民地に対して従来より厳しい政策をとった。それが植民地住民の^(エ)不満をかき立てて、アメリカ独立のきっかけを与えることになった。

問5 下線部(ウ)に関して、北米植民地をめぐる英仏間抗争の決着がついた戦争は何か。

- a ウィリアム王戦争 b アン女王戦争 c ジョージ王戦争
d フレンチ=インディアン戦争 e プラッシーの戦い

問6 下線部(エ)に関して、時代順に並べると3番目に来るのはどれか。

- a 「代表なくして課税なし」の主張 b ボストン港閉鎖
c 茶法の発布 d ボストン茶会事件 e 印紙法の発布

問7 18世紀後半にイギリスから独立した13植民地に含まれない地域はどれか。

- a ニューハンプシャー b ニュージャージー
c サウスカロライナ d ロードアイランド e ミシガン

(Ⅲ) アメリカ独立戦争開始時、北米植民地の住民すべてが独立戦争を支持していたわけではない。大まかに言って、プランター・自営農民・中小商工業者は、独立戦争を支持し、高級官吏・国教会聖職者・大商人・大地主および大多数の^(オ)インディアンは、独立に反対だった。本国との和解を望んだ中立派も多かったという。しかし、本国への抗議で植民地側は結束し、抗議が無視されると戦闘が始まった。戦争には、ヨーロッパから直接・間接の支援があり、独立宣言は^(カ)この国の政治の原点とな^(キ)った。結局、植民地側が勝利し、アメリカの独立は国^(ク)際的に承認された。

問8 下線部(オ)に関して、独立戦争を支持した人たちは何と呼ばれたか。

- a 山岳派 b 水平派 c 愛国派 d 議会派 e 連邦派

問9 下線部(カ)に関して、第1回大陸会議が開かれたのはどこか。

- a フィラデルフィア b マサチューセッツ c ワシントン
d ボストン e コンコード

問10 アメリカ独立戦争で最初の戦いがあったのはどこか。

- a アーリントン b レキシントン c ヨークタウン
d サラトガ e ボストン

問11 下線部(キ)に関して、武装中立同盟を提唱したヨーロッパの国はどこか。

- a フランス b ロシア c プロイセン
d スペイン e オーストリア

問12 アメリカ側について戦ったヨーロッパ人は、次のうち誰か。

- a コシューシコ b コシュート c シェイエス
- d ノヴァーリス e バイロン

問13 下線部(ク)に関して、アメリカ独立宣言を起草した中心人物は誰か。

- a トマス=ペイン b パトリック=ヘンリ c ワシントン
- d ジェファソン e フランクリン

問14 下線部(ケ)に関して、アメリカの独立が承認されたパリ条約で、イギリスからアメリカに割譲された地域はどこか。

- a フロリダ b 英領カナダ c ニューファンドランド
- d ミシシッピ以東のルイジアナ e ミシシッピ以西のルイジアナ

(Ⅳ) 独立は達成されたが、国づくりはこれからで、戦争よりも長い道のりであった。たとえば、中央政府の管轄権と各州の自治権との兼ね合いは、絶えずアメリカの争点となり、中央政府の権限を大きくしようとする連邦派と、各州の自治権を重視する反連邦派が、政治的対立軸を形成した。また、他国から獲得した地域を含む広大な西部をいかに統合するかの問題も、政治の大きな課題となった。

問15 下線部(コ)に関して、1787年に制定されたアメリカ合衆国憲法に含まれていないものはどれか。

- a 連邦主義 b 人民主権 c 三権分立 d 大統領制
- e 一院制議会

問16 下線部(サ)に関して、19世紀初頭に第3代アメリカ大統領になった反連邦派の政治家は誰か。

- a ジェファソン b ハミルトン c ジャクソン
- d モンロー e グラント

問17 下線部(シ)に関して、アメリカ＝メキシコ戦争の結果、アメリカがメキシコから獲得した地域はどこか。

- a フロリダ
- b テキサス
- c カリフォルニア
- d オレゴン
- e アラバマ

問18 西部農民や東部労働者の支持を得て、西部出身の初の大統領になり、資本家勢力を押さえて庶民よりの政治をしたのは誰か。

- a ハミルトン
- b ジャクソン
- c モンロー
- d マッキンレー
- e ジェファソン＝デヴィス

(V) 工業化が進行する19世紀後半、北部と南部の経済構造や経済政策に、大きな差が出てきた。^(ス)西部の統合問題も南北対立に拍車をかけた。南北の対立が深まり、南部諸州が^(セ)合衆国から離脱して新国家を作るに至ると、国の分裂を阻止したい北部諸州との間に南北戦争が始まった。^(ソ)当初は南軍が優勢であったが、合衆国大統領リンカンが奴隷解放宣言を出して内外世論を味方につけ、戦局でも^(タ)巻き返し、北軍が勝利した。こうして合衆国分裂の危機は終わった。

問19 下線部(ス)に関して、以下の説明文で誤っているものはどれか。

- a 北部の主要産業は商工業であった。
- b 南部の主要産業は綿花栽培で、アークライトの綿繰り機の発明によって生産高を急増させていた。
- c 南部は奴隷の労働力を、北部は自由人の労働力を基盤としていた。
- d 北部は、イギリスの商品と対抗するために、保護関税を求めた。
- e 南部は、農産物輸出で不利になる保護関税に反対し、自由貿易を主張した。

問20 下線部(セ)に関して、西部の新州が合衆国に編入される際に、奴隷州・自由州のどちらが増えるのが大問題になり、1820年には、北緯36度30分以北には奴隷州をつくらないと定めた協定によって、南北の妥協が図られた。この協定のきっかけとなった西部の新州はどこか。

- a ミズーリ
- b メーン
- c カンザス
- d ネブラスカ
- e オクラホマ

問21 奴隷制反対をスローガンにして、アメリカ合衆国で19世紀半ばに結成された政党は何か。

- a ホイッグ党
- b トーリ党
- c 共和党
- d 民主党
- e 自由党

問22 下線部(ソ)に関して、南部諸州が新たに作った国の首都はどこか。

- a アトランタ
- b サムター
- c メンフィス
- d リッチモンド
- e ニューオーリンズ

問23 下線部(タ)に関して、奴隷解放宣言を法的に明文化したのは、次のどれか。

- a ローラット法
- b ホームステッド法
- c 憲法修正第13条
- d ワグナー法
- e シェアクロッパー法

4 次の史料は近代中国の有名な政治指導者が書いた文章である。これを読み、問(1～9)に答えなさい。

大から小に、強から弱に、存から亡になったものがあります。よく見きわめねばなりません。小から大に、弱から強に、亡から存になったものがあります。よく見きわめねばなりません。近くは万国に交通が開かれ、互いに覇を競い、強でなければ弱、大でなければ小、存でなければ亡で、中立の理はありません。大から小になったものに、トルコがあります。強から弱になったものに、インド・ピ^①_②^③

ルマ・ベトナム・ヒヴァ・アゼルバイジャン・マダガスカル・アフリカ全土があります。これらはみな守旧不変で、君主は自存し、民と隔絶していた国です。亡から存になったものに、シヤムがあります。小から大になったものに、ロシアがあります。弱から強になったものに、日本があります。これらはみな政治変革を行い、君主がよく民と通じあった国です。その効果はてきめんで、文明もすすんでいます。わが国と最も近いという点で、日本に及ぶものはないでしょう。

(中略)ヨーロッパが五百年追い求めてきたものを、日本は二十年で成功させました。その効果の速さは、地球上かつてなかったものです。その後、北は使節を派遣して蝦夷(北海道)を開拓し、南は使節を送って琉球を滅ぼし、西は反乱鎮圧のために朝鮮に出兵し、武威を誇って台湾を占拠しました。こうして日本は強国となり、欧州の独仏などの大国と拮抗するに至ったのです。その領土はと言えば、区々たる三島(本州・四国・九州を指す)にすぎず、その人口はと言えば、三千万にすぎません。いずれもわが国の十分の一です。なのに東アジアに武威をとどろかせ、世界に名を知られるのは、その原因を探してみるに、旧俗をことごとく改め、大政維新を行ったからではないでしょうか。

(中略)中国の政治変革がこれを鑑とするなら、守旧の政治・風俗が同じで、変革の条理も違わないのですから、先後の順序を、急いだり延ばしたり、全体にしたり一部にしたりして、もれなく実行すれば効果があらわれるでしょう。日本で行ったけれども失敗したものは、中国ではそれを参考にして取り除き、日本でよけいな手間をかけてようやく変えたものは、中国では直ちに実行すればよいのです。日本の変革の成功例だけを取り入れ、うまくいかなかった失敗例は捨てるというわけです。

(出典は『新編原典中国近代思想史』第2巻、岩波書店。ただし文言の一部を変更した。)

問1 この史料はいつの時期に書かれた文章か。選択肢(a～e)の中から1つ選びなさい。

- a 1860年代 b 1870年代 c 1880年代 d 1890年代
e 1900年代

問2 この文章を書いた人物と、その献呈を受けた人物は誰か。選択肢(a～e)の中から1つ選びなさい。

- a 康有為が書いて光緒帝に献呈した。
- b 孫文が書いて李鴻章に献呈した。
- c 李鴻章が書いて西太后に献呈した。
- d 梁啓超が書いて袁世凱に献呈した。
- e 曾國藩が書いて同治帝に献呈した。

問3 下線部①の叙述と関連の深い出来事は何か。選択肢(a～f)の中から2つ選びなさい。

- a ベルリン条約
- b ニコポリスの戦い
- c 第一次ウィーン包囲
- d プレヴェザの海戦
- e レパントの海戦
- f カルロヴィッツ条約

問4 下線部②はイギリスの植民地になったが、植民地化の過程を時系列で示すと、正しいものはどれか。選択肢(a～e)の中から1つ選びなさい。

- a 東インド会社の解散→マラーター戦争→プラッシーの戦い→インド帝国の成立→インド大反乱の勃発
- b インド帝国の成立→インド大反乱の勃発→マラーター戦争→東インド会社の解散→プラッシーの戦い
- c プラッシーの戦い→マラーター戦争→インド大反乱の勃発→東インド会社の解散→インド帝国の成立
- d マラーター戦争→プラッシーの戦い→東インド会社の解散→インド帝国の成立→インド大反乱の勃発
- e インド大反乱の勃発→プラッシーの戦い→東インド会社の解散→インド帝国の成立→マラーター戦争

問5 以下の事項について、下線部③に関連するものはa、下線部④に関連するものはb、下線部⑤に関連するものはc、いずれとも無関係なものはdをそれぞれ選びなさい。

- ア)黒旗軍 イ)コンバウン朝 ウ)ユエ(フエ)条約 エ)大院君
オ)ラーマ5世

問6 下線部⑥に関連する説明として誤っているものはどれか。選択肢(a～f)の中から2つ選びなさい。

- a 琉球と台湾は同じ年に日本の領土となった。
b かつて琉球王国は薩摩藩の支配を受けつつ、中国との冊封関係も継続し、日本・中国に両属していた。
c 明治政府が沖縄県の設置を強行したのは、1879年である。
d 沖縄県の設置は、琉球の反対と清朝の強い抵抗にあった。
e 琉球の日本への帰属は、日本の台湾出兵によって決定した。
f 琉球王国最後の国王は、明治政府に首里城を明けわたし、東京に移った。

問7 下線部⑦の反乱の名称は何か。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 壬午軍乱 b 甲午農民戦争 c 三・一運動 d 江華島事件
e 甲申政変

問8 下線部⑧の日本による台湾領有に関する説明として誤っているものはどれか。選択肢(a～f)の中から2つ選びなさい。

- a 日本による台湾領有はほぼ50年間に及んだ。
- b 日本による台湾割譲を取り決めたのは、台湾出兵直後の外交交渉である。
- c 下関条約によって清朝は台湾を日本に割譲した。
- d 台湾では日本による割譲に反対する動きがあったが、日本軍によって鎮圧された。
- e 日本は台湾領有後、住民に対する同化政策を採用し、教育の普及、産業の開発をおしすすめた。
- f 日本は台湾に対し、3次にわたる日台協約によって実質的な支配をおしすすめ、これに対して台湾はハーグの万国平和会議に密使を送って国際世論に訴えて抵抗した。

問9 下線部⑨の変革を挫折させた出来事は何か。選択肢(a～e)の中から1つ選びなさい。

- a 日清戦争 b 二十一カ条要求 c 辛亥革命 d 戊戌の政変
- e 満州事変